

プロフィール

～第1部 発表者～

◆佐藤 馨 (Kei SATO)



愛知県出身。びわこ成蹊スポーツ大学准教授。

中京大学大学院体育学研究科博士課程修了後、研究の世界へ。2003年よりびわこ成蹊スポーツ大学専任講師、2008年より現職。「スポーツ社会学」「レジャー・レクリエーション論」「女性と生涯スポーツ」の授業を担当する。主な研究分野は「女性とスポーツ」。特に、一般女性のスポーツ活動に焦点をあて、どうすれば女性のスポーツ活動が男性よりも活発になるのかについて研究している。競技スポーツよりも、体を動かすことで得られる楽しさに興味があり、いわゆる生涯スポーツに関する研究に取り組んでいる。

昨年度より、本事業の「女性リーダーシップ開発プロジェクト」のプロジェクトマネジャーを務め、女性アスリートの実情を明らかにすることで、日本における女性スポーツ促進の一助になれたらと考えている。

座右の銘は、「人生には何ひとつ無駄なものはない」。

◆鯉川 なつえ (Natsue KOIKAWA)



福岡県出身。順天堂大学スポーツ健康科学部スポーツ科学科 准教授、同陸上競技部女子監督。

小学校時代はミニバスケットボールとバドミントン、中学校時代はバレーボールに打ち込み、筑紫女学園高等学校に進学と同時に陸上競技を始める。1990年全国高校駅伝大会1区で区間賞、同年のインターハイでは3000mで高校新記録を樹立。順天堂大学に進学後、1992年インカレで3000m、10000mの2冠を達成、同年全日本大学女子駅伝では3区区間賞を獲得。1993年松江レディースハーフマラソンでは学生新記録を樹立し、同年ユニバーシアード・パッファロー大会(10000m、3000m)、1995年ユニバーシアード・福岡大会(マラソン)では日本代表として活躍した。

大学卒業後は三田工業(株)に入社。実業団チームで3年間競技を続けた後、順天堂大学大学院へ進学。自身の研究を行う傍ら、研究室助手および陸上部女子コーチの3役を担った。2001年に順天堂大学に奉職。現在は、医学部のある順天堂大学の強みを生かし、月経周期も考慮したコンディショニングを徹底させながら、陸上競技部女子の指導にあたる。主な研究テーマは、スポーツにおける疲労の血液生化学的研究および女性トレーニングに関する研究。1児(3歳)の母としての顔を持つ。モットー(好きな言葉)： 限界挑戦

◆イザベル カイエ (Isabelle CAYER)



カナダコーチング協会 コーチングコンサルタント(Coaching Consultant, Coaching Association of Canada)

元フィギュアスケート選手。1991年からスケート指導を始め、1995年より10年以上にわたり、ナショナルコーチングライセンスを持つコーチとして、フィギュアスケート選手の指導にあたる。その後、ナショナルコーチングプログラムの運営や、カナディアン・スポーツ・フォー・ライフ(Canadian Sports for life)の長期競技者養成モデル(Long Term Athlete Development)に基づくプログラム実施の先頭に立ちながら、カナダのナショナルレベルにおける女性リーダーとして15年以上の歳月を過ごす。もっとも難しく価値があると感じている仕事は、自身の2人の娘をスポーツに関係させるように育てること。

現在はカナダコーチング協会のコーチングコンサルタントとして、14競技のコーチ教育プログラムを担当し、女性コーチングプログラムのマネジャーとして活躍。2010年バンクーバー冬季五輪においてはメディア対応を行った。

※Canadian Sports for life：カナダの生涯スポーツ施策の中心的な機能を果たし、健康増進やコミュニティ強化、競技力向上、ナショナルアイデンティティ強化を目指すムーブメント

※Long Term Athlete Development：年齢および男女差に配慮した長期的な競技者養成モデル

～第1部 コーディネーター～

◆萩 裕美子 (Yumiko HAGI, Ph.D.)



東京都台東区出身。東海大学 教授、順天堂大学マルチサポート事業 有識者。

東京学芸大学を卒業後、東京Y M C A社会体育専門学校で10年間専任講師を務め、その間に女子栄養大学を卒業。その後、鹿屋体育大学専任講師として赴任。助教授、教授を経て、2009年4月から現職。

健康づくりやウエイトコントロールを運動と栄養の両面から支援する方法を考案実践してきた。女子栄養大学研究生を経て、博士号(保健学)を取得。生活習慣病予防のための健康づくりプログラムの評価や、生涯スポーツイベント参加者の運動継続に関する研究を行っている。文部科学省における全国体力・運動能力、生活習慣等調査の委員としても活動を行う。主な著書に「健康スポーツの指導」(建帛社)編著、「ダイエットへの警鐘」(サイエンティスト社)翻訳などがある。